

# きりん組だより

R6・10・24 (木) 佐藤 菜摘



今月のねらいは、《身近な秋の自然物を探したり、遊びに取り入れたりして、興味や関心をもつ》でした。秋の自然物を探してあそびのイメージを共有しながら、ごっこ遊びを楽しむ姿を紹介します。

ここに栗がいっぱいあるよ～！

本当だ！みんなにも  
教えてあげよう！

雑木林で大量の栗を発見！夢中で拾う子ども達。「この栗どうする？」と子ども達と話し合うと、「絵を描いてみたい」「和香先生に頼んで、おいしく調理してもらおうよ」「青空レストランでごちそうにしよう！」など、提案してくれました。

秀太くんは朝顔の種をとっています。「種が入っている袋が、茶色くてカサカサしてきたら、とってもいいんだよ！」と、年下児に教えていました。優しいですね。この種も青空レストランで使いました。

ごっこ遊びの中で、自然物を取り入れて遊ぶ面白さ、自分達で考えて工夫する楽しさを味わっていました。

赤い実をつぶしてみたら、白い液体と泡がでてきたよ。  
どんな味がするんだろう？  
酸っぱいのかな？

## 何かを発見した二人

あの赤い実を料理したらおいしいかもしれないよ！

いい考えだね！

この赤い実、レストランのごちそうに使えるかも！

いいね！これ分けてあげるよ。どうぞ！

赤い実（マユミ）に興味をもち、一粒ずつ丁寧に取っていました。一体この赤い実をどうするのでしょうか？

ジュースです。どうぞ～

秋は、さまざまな発見や気づきがあり、学ぶことの多い季節です。栗や木の実に触れ、興味関心をもち、花の匂いや葉っぱの形、色の違いに気づきながら遊ぶ姿が多く見られました。発見や気づきを伝え合い、遊びの楽しさを共有して、友達の考えやアイデアに刺激を受けながら自由な発想で遊びを広げ、秋を満喫したようです。

雑木林で拾った栗は、遊びや調理で使っても、まだたくさんあったので、みんなでどうするか話し合いました。「お土産にしよう！」「こあらしにもあげたらいいんじゃない？」ということで、きりん・こあら組のお土産にしました。おいしかったですか？

